

7 教科書に「思考の足跡」を残しましょう

次に示すのは、「やまなし」（光村図書6年下）において、「いいなと思う表現」「ふしぎだなと思う言葉」などに線を引き、どんなことを思ったのかを書き込んだ教材文の例です。

「やまなし」（光村図書6年下）の書き込み例

「どこから底を写しているのかな どんな機械なんだらうつ
小さな谷川の底を写した、二枚の青い幻灯です。
— 五月

「ひきのかにの子どもらが、青白い水の底で話していました。
「クランポンは笑ったよ。」 どんな生き物かな
「クランポンはかぶかぶ笑ったよ。」 おもしろい言葉だな
「クランポンはかぶかぶ笑ったよ。」 かたい感じってどういうことかな
上の方や横の方は、青く暗く綱のように見えます。そのなめらかな天井を、つぶつぶ暗いあわが流れていきます。
(略) どんな感じか見てみたい
かにの子どもらも、ぼつぼつと、続けてあわをはきました。それは、ゆれながら水銀のように光って、ななめに上の方へ上がっていきました。
つと銀の色の腹をひるがえして、一ぴきの魚が頭の上を過ぎていきました。
(略)
「お魚は、なぜああ行ったり来たりするの。」
弟のかにが、まぶしそくに目を動かしながらたずねました。
「何か悪いことをしているんだよ。取っているんだよ。」 クランポンを取っているのかな
「取っているの。」
「うん。」 つづいて今度は落ち着いているの？ひょっとして…
そのお魚が、また上からもどつてきました。今度はゆっくり落ち着いて、ひれも尾も動かさず、ただ水にだけ流されながら、お口を輪のように円くしてやって来ました。そのかげは、黒く静かに底の光のあみの上をすべりました。こわそう
「お魚は……。」
そのときです。にわか天井に白いあわが立って、青光りのまるでぎらぎらする鉄砲だまのようなものが、いきなり飛びこんできました。

かこの兄弟の会話は、どれが兄でどれが弟なのか

表現に即して読む

このように、教材文に線を引いたり、書き込みをしたりすることは、表現に即した読みをするうえで大切です。また、自分の考えを深めることに加え、互いの読みを伝え合ううえでも効果的です。

また、授業を展開するに当たっては、児童の書き込みをいったん伏せて、線だけを引いた教材文を印刷して配ります。それをもとに、児童が、いろいろな表現に目を向けつつ、楽しく想像し、自分なりの考えをもつように展開することが望めます。

授業展開例

今日は、5月の場面の表現を味わい、豊かに想像することがねらいです。ところで、「表現を味わう」「豊かに想像する」って言っても、どうすればいいんでしょうね。昨日は、「心に残った表現」に線を引きながら読みましたね。そのとき、みなさんが線を引いたところをまとめて印刷したものを配ります（前ページのプリント例）。

この中に、先生が線を引いたところが入っているのですよ。聞いてみたいですか？そうして、ゆうべ、先生はお家で、いっしょうけんめいに、その表現を思い出しながら、いろいろなことを考え、思いをめぐらしながら、味わったり、想像したりしてきたんですよ。

では、まず、その中から、一つか二つを紹介しましょうね。（任意の表現について、楽しく、想像をめぐらして語る。）次に、みなさんに聞いてみましょうね。まず、マーカーで、自分が引いたところに色を付けてみましょうね。

Aさんは、「かぶかぶ」に線を引いていましたね。先生もそこが好きなのでAさんに聞いてみたいのです。どんな感じがしましたか。（何人かを指名したり、挙手発言などにより、表現を仲立ちにして、感想のやりとりをする。自己表現が苦手な子の場合は、教師が言葉を補って引き出したり級友に助けてもらったりする。）

ワンステップアップ

この授業展開例は、配布用のプリントの中に、教師の読みを語るしかけを加えているところに工夫があります。教師の読みを例示しながら、児童の読みも引き出していくことで、「表現を味わい、豊かに想像する」というねらいの達成につながっています。児童も、自分が前時に線を引いているので、期待感や安心感をもって答えることができます。

線を引く

- ・要約するために、キーワードや中心文を探して線を引く。
- ・登場人物の行動（＝線）と心情（－線）を区別して線を引く。

囲みを付ける

- ・場面や意味段落などに分けるために、段落のまとまりごとに囲みを付ける。

色分けする

- ・登場人物の様子や気持ちを考えるために、行動や心情などを色で区別する。
- ・事実と意見を色で区別する。

「はじめはえんぴつで線を引こう。」
「次は色をえらんでうすく書こう。」
「はっきり分かったことは、色を目立つように、こくしよう。」

書き込みをする

- ・いわゆる「初発の感想」を書く手だてとして、読みながら思ったことを自由に書き込みする。（友人の発表を聞きながら、さらに書き加える。）
- ・で線を引いた、登場人物の行動や心情を表す表現に関して、欄外に小さな吹き出しを作り、気持ちなどを想像して書く。
- ・国語辞典で調べた「言葉の意味」を欄外にメモ書きする。